

Official Main Partners



ゲートシティ大崎



Official Presenting Partners

MERRELL



SALOMON

Official Supporting Partners



HIRAKATA T-SITE



世界中が熱狂！50年以上の歴史を持つ国際的映画祭 Banff Centre Mountain Film Festival in Japan 2026 開催！ 心に残る、最高のフィルムに出会いましょう！

バンフセンター・マウンテンフィルム フェスティバル・イン・ジャパン実行委員会（WGPR内、所在地：東京都港区）は、**Banff Centre Mountain Film Festival in Japan 2026**（バンフセンター・マウンテンフィルムフェスティバル・イン・ジャパン2026）を開催いたします。今年は、9月27日（日）開催の新潟県南魚沼市を皮切りに、東京、大阪、山梨、名古屋、富山県朝日町、北海道東川町の7都市で開催予定です。また、今年はライブ開催とは別のプログラムを用意し、オンラインでの開催も11月16日より開催いたします。

ぜひ、できる限り多くの方に、自然の素晴らしさや厳しさ、人間の強さや弱さ、そして美しさを堪能してもらい、一つでも心に残るフィルムを見つけてもらえればと思います。

世界最高峰のアウトドア映画祭であるバンフセンター・マウンテンフィルム フェスティバル。1976年にスタートしたこの映画祭は、毎年11月にカナダ・アルバータ州バンフで9日間に渡り開催されています。

世界中から応募された400本以上の作品のなかからグランプリおよび受賞作品が選出され、そのなかからさらに厳選された作品の数々がワールドツアーとして40か国以上で上映されています。

来場者数は全世界で約50万人以上となり、世界中の山岳・アウトドア愛好家はもとより、広く一般の方々にも愛されているイベントです。

世界各国から集められた山岳をはじめとした様々なアウトドアスポーツの楽しさ、厳しさ、美しさ、そして知られざる秘境に住む人々の生活や文化をぜひお楽しみください。

●バンフセンターとは？

バンフセンターはバンフ国立公園の中心に1933年に設立されました。演劇コースのみで始まったプログラムは、芸術プログラムの発展にともない様々なコースが組み込まれ、世界中から素晴らしい芸術家たちが集まり、日々、新しい芸術の創出に勤しんでいます。いまでは、芸術文化におけるカナダのクリエイティブの中心的な存在として知られています。

BANFF CENTRE
MOUNTAIN FILM FESTIVAL
WORLD TOUR

THE WORLD'S
BEST MOUNTAIN FILMS

JAPAN
[http://www.banff.jp]

【開催日程】
新潟（南魚沼市）：9月27日（日）
東京（大崎）：10月10日（土）～12日（月・祝）
大阪（心斎橋）：10月24日（土）
山梨（甲府市）：10月31日（土）
愛知（名古屋）：11月7日（土）
富山（朝日町）：11月14日（土）
北海道（東川町）：11月15日（日）

Official Main Partners
Coleman アルパインツアー GATE CITY OHSAKI ゲートシティ大崎
THE NORTH FACE ARC'TERYX YETI

Official Presenting Partners
MERRELL Vibram SALOMON

Official Supporting Partners
朝日町 アスカ HIRAKATA T-SITE
Sotoasō HIGASHIKAWA MOUNTAIN FESTIVAL ISS INSTITUTE OF SCIENCE
南魚沼市 HAKKAISANROKU CANADA

【この件に関するマスコミの方々からのお問合せ先】

バンフセンター・マウンテンフィルムフェスティバル・イン・ジャパン実行委員会 事務局（WGPR内）

担当：中川原

〒107-0062東京都港区南青山3-8-40 青山センタービル2F TEL：03-5324-2231 mail：bmff@wgpr.co.jp

【Banff Centre Mountain Film Festival in Japan 2026 開催概要】

■名称

英語表記／Banff Centre Mountain Film Festival in Japan 2026

日本語表記／バンフセンター・マウンテンフィルムフェスティバル・イン・ジャパン2026

公式WEBサイト：<http://www.banff.jp/>

■イベント協賛企業

主催：バンフセンター・マウンテンフィルムフェスティバル・イン・ジャパン実行委員会

Official Main Partners

コールマンジャパン株式会社 / アルパインツアーサービス株式会社 / ゲートシティ大崎 / THE NOTRTH FACE / ARC'TERYX / YETI



Official Presenting Partners

MERRELL / vibram / SALOMON



Official Supporting Partners

カナダ大使館 / アルバート州政府在日事務所 / 朝日町 / アゼリアホール / 東川町 / 山梨学院大学スポーツ科学部 / HIRAKATA T-SITE / Sotoaso / 南魚沼市 / 八海山麓サイクリング



●ライブ開催 場所・日程

各都市、プログラムA、プログラムBを上映します。それぞれ上映内容が異なります。

開催地	開催日	会場	住所	お問い合わせ先	収容人数	開催時間	上映プログラム
新潟 南魚沼市	9月27日（日）	八海山麓スキー場広場（屋外）	新潟県南魚沼市荒金	025-779-3103	300席	18:30上映（17:30開場） プログラムA ※八海山麓アウトドアフェスティバルイベントは12:00オープン	プログラムA
東京	10月10日（土）、11日（日）、12（月・祝）	ゲートシティ大崎 ゲートシティホール(B1) ※親子ルームあり	東京都品川区大崎1-11-1	03-5496-5311	416席	11:00上映（10:30 ホール開場）プログラムA 15:00上映（14:30 ホール開場）プログラムB	プログラムA プログラムB
大阪	10月24日（土）	SPACE14（スペースイチヨン）	大阪府大阪市中央区心斎橋筋1丁目8-3 心斎橋PARCO 14F		277席	11:00上映（10:30 ホール開場）プログラムA 15:00上映（14:30 ホール開場）プログラムB	プログラムA プログラムB
山梨	10月31日（土）	山梨学院大学 ステージ21・メモリアルホール	山梨県甲府市酒折2-4-5	iiizuka.shun@c2c.ac.jp 055-224-1260 （ISS事務室）	600席	17:00上映 山梨・アーカイブ・セレクション ※イベント会場は15：30オープン	山梨・アーカイブ・セレクション BANFF Archive Selection ※過去2年の人気作を集めた特別上映
名古屋	11月7日（土）	メニコン シアターAoi	愛知県名古屋市中区葵三丁目21番19号 Menicon Theater Aoi Bldg. 内	052-938-7185	301席	11:00上映（10:30 ホール開場）プログラムA 15:00上映（14:30 ホール開場）プログラムB	プログラムA プログラムB
富山県 朝日町	11月14日（土）	朝日コミュニティホール アゼリア	下新川郡朝日町平柳688	0765-83-2000	356席	11:00上映（10:30 ホール開場）プログラムA 15:00上映（14:30 ホール開場）プログラムB	プログラムA プログラムB
北海道 東川町	11月15日（日）	東川町文化芸術交流センター「せんとびゅあ」	北海道上川郡東川町北町1丁目1-1	■問合せ： 東川アウトドアフェスティバル実行委員会 higashikawa.outdoor@gmail.com	350席	18:00上映 プログラムB ※イベント会場は12：00オープン	プログラムB

●チケットの種類と料金

プログラムA、プログラムB、の2タイプがございます。

- 東京、名古屋、大阪、富山朝日町開催 ※小学生以下無料
＜前売券＞ プログラムA、B 各チケット：¥1,500（税込） ＜当日券＞ ¥1,800（税込）
＜前売券＞ プログラムA、B共通プログラムチケット：¥2,500（税込） ＜当日券＞ ¥3,000（税込）
- 山梨開催 ※小学生以下無料
＜前売券＞ BANFF Archive Selection：¥1,500（税込） ＜当日券＞ ¥1,800（税込）
- 新潟南魚沼市開催
＜前売券＞ プログラムA：¥1,500（税込） ＜当日券＞ ¥2,000（税込）
- 北海道東川開催
＜前売券＞ プログラムA：¥1,500（税込） ＜当日券＞ ¥1,800（税込）

●チケットの購入方法 チケット販売開始：2026/8/1(木) 0:00～

- ご購入
1. イベントの一覧（ <https://livepocket.jp/t/bcmff2026> ）から、会場を選択して下さい。
2. チケットを選択し購入を完了して下さい。
3. 人数分のチケット（QRコード入り）を受付でご提示ください。

※新潟南魚沼市、北海道東川開催のチケット購入は上記とは異なります。詳細は公式ウェブサイトをご確認ください。



●オンライン開催開催 場所・日程

<BCMFF in Japan 2026 オンラインプログラム>

より多くの方にこの映画祭を楽しんでいただけるようにオンライン開催を実施いたします。このオンライン配信では、ライブ開催とは全く別のプログラム上映となります。ライブ開催に来られた方も、来ることができなかった方も、ぜひこの素晴らしい映像をお楽しみください！

●視聴概要

視聴料金：1500円

視聴時間：138分

視聴期間：2026年11月16日（月）0:00～2026年11月30日（月）23:00まで視聴可能

●チケットの購入と視聴方法についてーチケット販売開始時期：8月1日～予定

①画面中央（青紫色部分）の「Pre-order now」をクリックいただき、メールアドレスとパスワードでユーザー登録をしてください。

②ユーザー登録後、チケットのお支払いを済ませてください。

③視聴期間内のご都合の良いタイミングで視聴開始ください。

※視聴開始後は、72時間以内に視聴を完了する必要があります。

●視聴ページURL

<https://watch.banffcentre.ca/onlinefilms/play/69efd3b7162584ae7d0b517d>



●オンラインプログラム上映作品

The Book of George（16分）

Ephemeral（33分）

One Step Ahead（14分）

Reel Rock: Riders on the Storm（28分）

The Finisher: Jasmin Paris and the Barkley Marathons（47分）

ご注意：

・視聴期間は2026年11月16日（月）0:00～2026年11月30日（月）23:00までとなります。

・このプログラムは日本国内でのみ視聴可能です（日本国内に滞在している必要があります）。

・本オンライン上映は、1チケットにつき同一世帯内での視聴を対象としています。同一世帯内であれば、複数のデバイスからログインしてご視聴いただけますが、別世帯の方とのアカウント共有や、店舗・会場等での上映、チケットの転売、第三者への視聴権の譲渡はできません。

Banff CENTER Mountain Film Festival in Japan 2026

<プログラムA>

■タイトル : Cold Calls - Japan Canada 6分 制作 : Blank Collective Films, Alexi Godbout

会話の断片、胸に残る記憶、その季節だけがもたらす偶然——。
『Cold Calls - Japan』は、そんな瞬間をつなぎ合わせて紡がれたスキーフィルム。日本の雪山を舞台に、滑りの美しさはもちろん、旅の空気や土地の気配までも映し出し、静かな余韻を残す。



■タイトル : The Hive Architect UK 12分 制作 : Fera, Sidney Hiscox

この14年間、マット・ソマヴィルは冬のあいだに丸太の巣箱を作り、夏になるとイングランド各地を巡ってそれらを設置してきた。人の手を極力加えない“野生のミツバチのための棲みか”を育てる、その静かで揺るぎない営みを映し出す。



■タイトル : Old Man Lightning (Tour Edit) USA 46分 制作 : Sarl XDLR Suisse

クライミング界の伝説、ジョン・ヴァーム・シャーマンが、老いやビール、そして絶滅危惧種コンドルをめぐる現実に立ち向かいながら、ヨセミテの伝説的課題〈ミッドナイト・ライトニング〉に最後の挑戦を挑む。



■タイトル : Mandala (Tour Edit) France 6分 制作 : Kilian Bron, Valentin Birant Films

キリアン・ブロンと仲間たちは、カトマンズからネパール奥地のドルポ地方へ。世界でもひととき隔離された谷に息づく、目もくらむような尾根道と、時を超えたような村々をたどる旅のなかで、冒険の高揚、そして人と人とのつながりが交差していく。



■タイトル : Black Eyes Australia 19分 制作 : Manigua Productions; Mateo Arango Guerrero

時を超えた風景が広がるモンゴル・アルタイ山脈。13歳の少女カラコズは、祖先から受け継がれてきた伝統と、現代の感性をあわせ持つ存在。鷹狩りという古からの技を学ぶ姿を通して、神聖な知恵を次の世代へと受け継ぐことの大切さを問う。



■タイトル : Best Day Ever USA 48分 制作 : Richmond Mountain Trails, Berne Broudy

アダプティブ・マウンテンバイカーのグレッグ・ダーソとアリー・ビアンキが、障がいとともに生きる絶え間ない困難に、ユーモアと前向きな姿勢で向き合う姿を追ったフィルム。バーモントの豊かな自然に抱かれたライディングコミュニティのなかで、支え合い、友情、そして純粋な喜びが鮮やかに描かれる。



Banff CENTER Mountain Film Festival in Japan 2026

<プログラムB>

■タイトル : Flow Vision (Tour Edit) France 8分 制作 : Ambroise Trauet

アンブロワーズ曰く、ダウンヒルスケートボーディングの魅力は、シーズンに二、三度、あるいは人生でほんのわずしか訪れない特別な瞬間があるから。彼はその感覚を深く味わうため、ヨーロッパ屈指の過酷な道へと挑む。極限の先に立ち現れる“フロー状態”へと没入していく。



■タイトル : Robson カナダ 49分 制作 : Sherpas Cinema, Malcolm Sangster, Joshua Lavigne, Gabriella Dufour-Léonard

世界屈指のスキーマウンテンア、クリスティーナ・ルステンベルガーとギヨーム・ピエレルが、世代を超えて挑戦を退けてきたマウント・ロブソン南壁の初滑降に挑む。先駆者たちの足跡と、その大いなる遺産をたどる壮大なフィルム。



■タイトル : Bridgers USA 12分 制作 : Second Original, Joseph Fletcher

ボーズマンを拠点に働く2人のスキーパトローラーが、こよなく愛する故郷とスキー環境に押し寄せる急速な変化を見つめる。50シーズンの経験を重ねたディーン・ブランドは、その先の未来を静かに受け止め、そのまなざしは若き同僚の心にも鮮やかに伝わっていく。



■タイトル : Arctic Alchemy USA 29分 制作 : Field Work Creative, Wild Confluence, Zeppelin Zeerip, Colin Arisman

アラスカの著名な冒険家であり気候科学者でもあるローマン・ダイアルが、水系を汚染する謎の現象の源を追う調査遠征に挑む。過去の喪失と向き合いながら、自然への畏怖と偉大さを探求する。



■タイトル : Loving Karma (Tour Edit) UK, USA 40分 制作 : High Altitude Films, Sparkling Particles, Johnny Burke, Andrew Hinton

『Tashi and the Monk』の続編となる本作『Loving Karma』。恵まれない子どもたちを引き取り、ヒマラヤの麓にある小さな学校を作り深い愛と慈しみをもって子どもたちを育ている元僧侶ロブサン・プンツォク。愛の力にふれながら成長していく少女タシの姿を見つめた前作の12年後を描く。歳月がもたらした変化と、変わらず息づく絆を静かに映し出す。



Banff CENTER Mountain Film Festival in Japan 2026

<山梨 アーカイブ セレクション>

■タイトル : 2 Legs is 2 Easy / USA 7分 制作 : Pierre Henni

左脚に骨のがんを抱えて生まれ、生まれてから一度も両脚で立ったことがないスティーブ・カーチーフスキー。しかしそれでも、アウトドアアスリートとして彼がやりたいと思ったことをあきらめたことは一度もない。困難と向き合う勇気を私たちに教えてくれる。



■タイトル : 109 Below / USA 14分 制作 : Stept Studios

見知らぬ人の命を救うために命がけで挑む、精鋭レスキューボランティアたちの不屈の精神と覚悟を描いた物語。1982年、マウント・ワシントンで行われたある救助活動は、2人のクライマーの人生だけでなく、彼らを救おうとしたレスキュー隊員たちの人生をも変えることになる。



■タイトル : The Last Observers / USA 24分 制作 : Patagonia Films

間もなく自動化される予定のスウェーデン南西部の海岸にある国内で最後に残された手動の気象観測所。自然との共生の中に真の幸せを見出し、素朴で穏やかな人生を歩んできた夫婦の姿が美しい映像とともに描かれる。



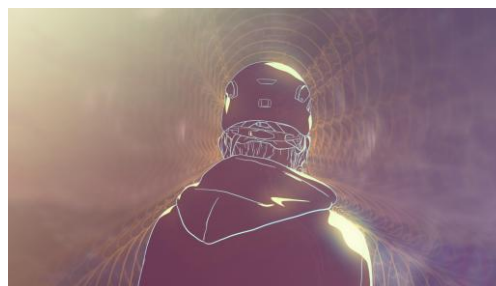
■タイトル : Eliot Jackson - Drop The Mic / Canada 2分 制作 : Scott Secco Films

元プロ・マウンテンバイクライダーのエリオット・ジャクソン。第一線を退き、さまざまな社会貢献活動に情熱を注いでいる。しかし、マウンテンバイク界で最もクールにスクラブ・ウィップを決めるライダーの一人でもある。



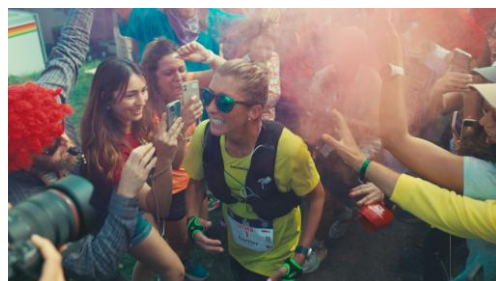
■タイトル : SOUNDSCAPE アメリカ 14分 制作 : Well Travelled Collective

世界的な冒険アスリートであり作家でもある全盲のエリック・ヴァイエンマイヤー。視覚のない世界では、反響音の位置、感触、想像力を駆使して山に登る。シエラネバダ山脈の奥深くにある巨大な高山の岩壁に登る様子を、彼と一緒に体験する。



■タイトル : A Team Sport / USA 16分 制作 : Stept Studios

最も偉大なウルトラランナーの一人であるコートニー・ドウォルター。2023年にはウエスタン・ステイツ100、ハードロック100、そしてUTMBという3つの伝説的な100マイル超のレースをひと夏で連続優勝し、ウルトラランニング史上初の“トリプルクラウン”を達成した。しかし、その驚異的な成功の陰には、彼女を支えるチームの存在がある。



■タイトル : EARTHSIDE アメリカ 33分 制作 : The North Face

エリート級の成績を着々と積み上げてきた29歳のフランスのスポーツクライマー、セブ・ブアン。その彼が新たな挑戦も求めたどり着いたのが、岩が深く刻まれたフランスのヴェルドン渓谷。気の遠くなる歳月をかけ世界最難関ルート9c (5.15d) に挑む。



Banff CENTER Mountain Film Festival in Japan 2026

オンラインプログラム

■タイトル : The Book of George USA 16分

制作 : Pure Gold Pictures, Danny Schmidt, George McKenzie Jr, Clay Barron

ブルックリンのコンクリートジャングルから、エバーグレイズの大自然へ。黒人写真家ジョージ・マッケンジー・ジュニアは、銃の重みをカメラの希望へと持ち替え、自然の圧倒的な美しさのなかに自らの使命を見いだした。



■タイトル : Ephemeral UK 33分

制作 : Studio 3 Cime, Francesco Valentinuzzi

年々短くなるアイスクライミングのシーズンを追い、クライマーのジェフ・メルシエはアイスランドの過酷な氷河地帯へ向かう。絶えず姿を変える氷と危険な地形に挑みながら、自らの限界とアイスクライミングの可能性を押し広げていく。



■タイトル : One Step Ahead Canada 14分

制作 : Blank Collective Films, Alexi Godbout

事故で脚を失ったノルウェーのスキーマー、ヘルント・マリウス。それでも彼は再び立ち上がり、スノーマレ・アルプスの雄大な斜面へ。愛してやまない滑りにもう一度挑む、力強い再生の物語。



■タイトル : Reel Rock: Riders on the Storm USA 28分

制作 : Reel Rock, Josh Lowell, Halle Johns

ビッグウォールクライマーのシーベ・ヴァンヒーは、ドリュー・スミス、同郷ベルギーのニコ・ファブレス、ショーン・ピラヌエバ・オドリスコルとともに、パタゴニアのトーレ・セントラル東壁に走る難攻不落のルート〈Riders on the Storm〉のフリー初登攀に挑む。



■タイトル : The Finisher: Jasmin Paris and the Barkley Marathons USA 47分

制作 : Singletrack LLC, Finn Alexander Melanson, Robert Fisher

ウルトラランナーのジャスミン・パリスが、38年の歴史を持つ過酷なバークレーマラソンズで女性初の完走に挑む姿を追ったフィルム。幾度もの失敗を乗り越えながら、不屈の精神で持久力と可能性の限界に挑み続ける、その執念と勇気を描く。



【マスコミの方へのご案内】

Banff CENTER Mountain Film Festival in Japan 2026に関連する画像、ロゴなどをマスコミの方々にご使用いただくため専用のwebページを公開しています。以下のダウンロードサイトよりご確認の上、ご使用ください。

■メディア・ダウンロードサイトURL

<https://www.banff.jp/media/>

■パスワード設定

user : bmffkit
pass : bmffjp2026

尚、画像をご使用の際には、以下の「マスコミからの問い合わせ先」までご一報いただき、ご使用の目的、掲載メディア、掲載予定日などをご連絡いただけますようお願い申し上げます。

【この件に関するマスコミおよび一般の方々からのお問合せ先】

バンフセンター・マウンテンフィルム フェスティバル・イン・ジャパン実行委員会 事務局（WGPR内）
担当：中川原

TEL：03-5324-2231 mail：bmff@wgpr.co.jp

※一般の方からの問い合わせ受付時間 10：00～17：00（平日のみ）

【参考資料】

※昨年のアンケートより：感想コメント一部抜粋

●色々な作品があるけど、どの作品を見ても、**自分がいかに狭い世界で生きているのかを感じずにはられません。**

●諸事情あって数年ぶりの参加です。相変わらず最高でした。心打つものがあります。今年から息子が初参加です。勉強になったそうです。

●**ワクワクして、雪山へ行きたくなります。滑りに行きたい！**

●息子が朝日町会場で3回観て、すごいからとにかく一緒に観ようと誘われて来ました。**自然の雄大さ、驚異、家族愛、チャレンジ精神、いろいろな事を考えさせられるフィルム**でした。

●感想を簡単にまとめられない。色々複雑な感情が出ます。**個人の幸福と探究心、人間社会、自然界、両立できない現実での葛藤。相変わらず答えは出ないですが、毎年いい機会**です。もっと広がらないのが不思議なくらいいいフェスティバルです。

●プロアスリートが重装備を備えて、命がけのエクスペディションに行く、という作品ばかりでないのが面白いですね。**人の限界は、思ってるより先の先にあるのだなと感じます。**山岳救助隊の方が「映画ではよく、厳しい天候でも登りきる様子が描かれるが、実際にはそんな状況になることは少ない」と話していたのが印象的です。

●12年振りに観ました！**20代の頃にバックカントリースキーにハマったあの気持ちを思い出しました！**また来年来たいと思います！

●万博のカナダ館でプレビュー観て、絶対行こうと思ってました。**素晴らしい映像を知るきっかけをくださりありがとうございます！**かなり濃厚なので、2日間開催か、アーカイブ配信あると嬉しいです。また次回も来たいです。

●つい最近、膝の骨頭壊死を宣告されて大好きなスキーも登山もサーフィンももう出来なくなるのかな、と複雑な思いで過ごしていたところだったので、**今日の作品は本当に心に刺さったのと同時に奮い立たされました。**

●最近、スキーを中心としてアクティビティが好きな妻の足が骨頭壊死の可能性のある診断を受け、夫婦でこれからどのように向き合うべきか考えていた時期でした。歩行時にも痛みを感じるようになり深刻にも考える事がありました。そのタイミングで**今回のフィルムに映し出された様々な挑戦を**されている人々がとても魅力的で光をくれたような気がしました。

●鑑賞後はいつも明日から少し頑張ろうと思える。Mollyさんのようなフィルムの登場人物の話が聞く機会がもててよかった。